

## シンポジウム② 「不妊症に対する中医学」

座長：頼 建守 (新宿海上ビル診療所 副院長)

### 「韓国の不妊治療」

子宮発育不全型、卵巣機能欠落型不妊症に卓効した調経種玉湯の臨床報告」

李 鍾安 (婁元植韓医院 院長)

### 「挙児希望を主訴とした女性に対する中医学的治療の効果の検証 － 3年間の初診患者の解析から－」

別府正志 (東京医科歯科大学 医歯学教育システム研究センター 講師)

### 「不妊症臨床に妊産婦緊急病症の漢方と鍼灸治療症例」

何 仲涛 (徐福中医研究所 代表)

## 韓国の不妊治療

### 子宮発育不全型、卵巣機能欠落型不妊症に卓効した 調経種玉湯の臨床報告

Infertility treatment of Korea

Clinical report on the Effect of Choukeisyugyokutou on Various Infertility

<sup>1</sup>李 鐘安, <sup>2</sup>金 英信

韓国ソウル <sup>1</sup>裴元植韓医院, <sup>2</sup>明洞南山韓医院

<sup>1</sup>LEE jongan, <sup>2</sup>KIM youngsin

<sup>1</sup>Dr.BaeWonSik Clinic, <sup>2</sup>Myoungdongnamasan Clinic, SEOUL KOREA

**【緒言】** 調経種玉湯は韓国で女性不妊症に多頻度に活用されている処方中の一つである。しかし、すべての女性不妊が適応症とはいえない。長期間に及ぶ多数の臨床治療における研究の結果から、投薬のための特定な類型が存在することを検証し、これを実証的に検討した。調経種玉湯は裴元植先生の処方で、臨床症例を記録し始めた1954年から2013年の間で、1,059名の妊娠成功事例が残っている。

**【方法】** 2006年1月から2013年6月まで裴元植韓医院に来院した不妊外来患者中、決められた期間の治療過程を終えた者で、その後、妊娠、出産に成功した180件の症例を分析して、特定類型に有効な効果を表した調経種玉湯の運用法を研究した。治療過程の投薬は、煎じた湯液を1回80cc、1日2回、45日間服用させた。

**【結果】** 1. 患者の体力によって効果の発現期間にある程度の差はあるが、大部分の患者が訴えていたほとんどの症状が改善し、正常的な子宮と卵巣機能が回復したと考えられた。2. それらの患者の中の60%において、短い者ではその月に、少なくとも5カ月以内に妊娠に成功する結果を得られた。3. 習慣性流産、過排卵注射、卵子採取のためのホルモン剤の投与などで子宮と卵巣の疲労度が大きい患者の場合、75日間の投薬期間を必要とした。

**【考察】** 不妊は原因により子宮系統の虚冷、腎虚、肝虚、気滞等の類型で分類することができる。それらの中で一番頻度の高い子宮発育不全型、卵巣機能欠落型の不妊症に調経種玉湯が明らかに有意性のある効果をみせた。裴元植先生の調経種玉湯は『東医宝鑑』の処方に、人参を加味し、呉茱萸を減量した14種類の薬で構成されている。これらの薬剤が子宮と卵巣機能の向上に明らかな影響を与え、子宮の受胎能力を向上させたものと考えられた。また、調経種玉湯は卵巣機能と関係の深い脳下垂体にも影響を与えるのではないかと推測される。

## 挙児希望を主訴とした女性に対する中医学的治療の 効果の検証－3年間の初診患者の解析から－

Verification of the effect of the medical treatment based on Traditional  
Chinese Medicine to the woman who has desire to bear children  
－ From the analysis of the new patient for three years －

別府正志

東京医科歯科大学 医歯学教育システム研究センター

Masashi Beppu, M.D., Ph.D

Center for Education Research in Medicine and Dentistry, Tokyo Medical and Dental University

**【緒言】** 不妊症は妊娠を望むカップルの約10%に発症する。西洋医学による高度生殖医療が発展し、多くの不妊カップルに福音をもたらしてきたが、それにもかかわらず体外受精胚移植の成功率は約30%と高くはなく、また本質的に生殖器系そのものに対するアプローチであるため、「妊娠しやすい体作り」といった点では伝統的医学に一日の長が認められる。西洋医学的治療だけでは妊娠に至らず、もしくは西洋医学的治療を受ける前に妊娠できる体作りを目的として、小生の元を訪れる患者は多い。今回、3年間にわたる初診患者を調査し、中医学的治療が妊娠に与えた影響について解析を行ったので報告する。

**【方法】** 平成22年1月より平成24年12月までの、中医学的治療を希望して初診した、挙児希望を主訴とした患者に関して後方視的に解析を行った。

**【結果】** 調査期間の3年間に、挙児希望を主訴として受診した婦人は96人であった。調査時（平成25年7月末日）までで妊娠が成立していたのはこのうち20人であった。一方この期間に妊娠が成立した婦人は28人であった。（いずれも複数回妊娠している女性は1人と数えた）。

**【考察】** 不妊を主訴に東洋医学的治療を希望する婦人は多いが、その背景は様々である。多くは既に様々な西洋医学的治療を受けていたり、極端な高齢であったりと、妊娠には不利である症例である。そのなかで、今回初診あたりの妊娠率が29%であったことは注目に値する。

今回報告する婦人たちには、症例によって様々な中医学的治療が行われたが、基本的には夏桂成氏の月経周期調整法を基礎とした中成薬の内服を基本とした。本療法は、1963年に江西省の産婦人科医師が初めて臨床で使い、1970年代より中国では一斉に注目を集めたといわれている。小生は平成15年頃より本療法に注目し、臨床で使い始めた。今回のシンポジウムでは、本療法の特徴の紹介とともに、調査期間3年間の患者の背景、転機等について報告する。

## 不妊症臨床に妊産婦緊急病症の漢方と鍼灸治療症例

Application of acupuncture and kampo medicine for gynaecologic emergencies: a case report in clinical infertility treatment.

<sup>1</sup>何 仲涛, <sup>2</sup>平野一二美

徐福中医研究所 <sup>1</sup>徐福鍼灸院, <sup>2</sup>徐福漢方薬局

<sup>1</sup>Zhongtao He, <sup>2</sup>Hifumi Hirano

<sup>1</sup>Jofuku Acupuncture Clinic, <sup>2</sup>Jofuku Kampo Drugstore Jofuku Institute of Traditional Chinese Medicine

**【緒言】** 不妊症臨床においては、流産および各種意外発生の緊急病症が多い。漢方と鍼灸による中医学総合治療により経験した、子宮外妊娠、前置胎盤、過期産鍼灸陣痛誘発の症例を報告する。

**【方法】** 中医学診断による弁証を行い、治法・処方・穴位を決定した。中医学総合治療（漢方と鍼灸）を実施。

**【結果】** 症例①<子宮外妊娠> 37歳女性、結婚2年不妊、当院不妊治療中。月経停止50日、全身のほてり、悪心、頻尿、腹痛、少量の性器出血、HCG240、妊娠テスト+、右卵巢周りに血液の溜り。ある病院で、子宮外妊娠と診断。1週間後、HCGが下がらない場合、抗がん剤使用との予定。中医学では、肝脾不和、気滯血瘀と弁証。疏肝健脾・理気化痰に芍帰調血飲第一加減方と三七末を処方。鍼灸：合谷、三陰交、足三里、腎兪、関元兪、照海（鍼）、至陰（灸）。1週間後、出血停止、HCG70、抗がん剤未使用。4週間後HCG14、月経復帰。8週間後HCG 0。症例②<前置胎盤> 28歳女性、当院治療による妊娠。妊娠18週、毎日少量の性器出血、食欲不振、夜間頻尿、腰痛、便秘。ある産婦人科で、超音波検査により、前置胎盤と診断。厳密観察と判断。中医学では気血両虚、衝任失調と弁証。補気養血・調理衝任に当帰芍薬散エキスを処方。7週後、婦宝当帰膏（出産まで）に変方。鍼灸：足三里、中脘、関元、腎兪（鍼）、隠白、復溜（灸）。治療後、出血が徐々に減少、28週で出血停止、諸症状も改善。40週で順調分娩。症例③<過期産（鍼灸陣痛誘発）> 37歳女性、当院治療による妊娠。妊娠40週、腹の張り、腰痛、便秘気味、弦脈。ある産婦人科で、子宮頸管未熟による過期産の恐れがあると指摘。入院観察、陣痛誘発剤使用や、帝王切開との予定。中医学では、肝脾不和、気機失調と弁証。疏肝健脾・調理気機に鍼灸：合谷、三陰交、足三里、腎兪、次膠（鍼）、至陰（灸）。鍼灸1回直後、腹の張りが軽減。47時間後、陣痛発生。60時間後、自然分娩。

**【考察】** 妊産婦緊急病症に対して、現代医学で薬の副作用があったり、治療効果が満足できなかったりした場合、漢方と鍼灸による中医学総合治療によって、安全かつ効果が見えるときがある。上述した3症例はそれが示唆された。今後、該分野の中医学臨床研究をさらに深化して、治療レベルを上向できれば、日本の少子化問題のみならず、世界にも貢献すると信じる。